

# Monthly Report

# TORANOTECアクティブジャパン

追加型投信／国内／株式

2019年6月末

## ファンドの概要

|         |                         |
|---------|-------------------------|
| 設 定 日   | 2017年9月29日              |
| 決 算 日   | 年1回 7月20日(休業日の場合は翌営業日)  |
| 信 託 期 間 | 無期限                     |
| 収 益 分 配 | 決算日に収益分配方針に基づいて分配を行います。 |

## ファンドの特色・投資方針

- 1 わが国の中小型株を中心に成長性の高い銘柄などに幅広く投資します。
- 2 中小型株の投資魅力である企業の成長性に主として着眼し、また、割安な企業、変化する企業を選別します。
- 3 中長期的観点からの投資を基本としますが、企業の経営姿勢や業績の変化、株価水準等から総合的に判断し、個別銘柄に対する投資比率の調整を行います。
- 4 数倍化する可能性のある銘柄の発掘に努めます。

## パフォーマンス

データ基準日: 2019年6月28日



|       |         |
|-------|---------|
| 基準価額  | 12,245円 |
| 前月末比  | +423円   |
| 純資産総額 | 2.27 億円 |

### 資産構成

|     |        |
|-----|--------|
| 株式  | 85.2 % |
| その他 | 14.8 % |

### 期間別騰落率(%)

| 1ヵ月  | 3ヵ月  | 6ヵ月   | 1年   | 3年 | 設定来   |
|------|------|-------|------|----|-------|
| +3.6 | +1.4 | +12.6 | -1.6 | -  | +22.5 |

### 分配金

|     |    |
|-----|----|
| 第1期 | 0円 |
| 設定来 | 0円 |

# Monthly Report

# TORANOTECアクティブジャパン

追加型投信／国内／株式

2019年6月末

## ポートフォリオ

| 純資産総額に対する組入比率上位10銘柄（全53銘柄） |                   |        |      |                                                                                   | 市場別    |       |
|----------------------------|-------------------|--------|------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------|-------|
| 1                          | 大阪ソーダ（4046）       | 化学     | 3.3% | 基礎化学品から機能化学品、さらに医薬品関連分野へ展開。グローバルニッチトップ商品を数多く保有。                                   | 東証一部   | 66.1% |
| 2                          | 三洋化成（4471）        | 化学     | 2.7% | 界面活性剤、高吸水性樹脂事業などを展開。約3000種の高機能化学品を扱い、ニッチながら好採算。5/29日本触媒との経営統合を発表（おむつ原料で世界シェア3割に）。 | 東証二部   | 3.6%  |
| 3                          | 三協フロンテア（9639）     | サービス業  | 2.3% | 仮設ユニットハウスやトランクルームなどの製造・販売・レンタル。災害復旧・復興、オリンピック関連工事などの需要増加。                         | マザーズ   | 5.8%  |
| 4                          | フューチャー（4722）      | 情報・通信業 | 2.3% | ITコンサルティング・システム開発＆サービス事業。ITコンサル（AI活用案件など）の需要が拡大。                                  | その他    | 9.7%  |
| 5                          | レグス（4286）         | サービス業  | 2.3% | 商品の企画開発、製造、販売等の企画、実施。食品、流通会社などとコラボしたプロモーション物販のサービス事業を拡大中。                         | 合計     | 85.2% |
| 6                          | サンフロンティア不動産（8934） | 不動産業   | 2.3% | 都心5区中心にオフィスビル再生事業。事業用不動産の賃貸や販売、ホテル経営や海外展開も。                                       | 業種別上位  |       |
| 7                          | クイック（4318）        | サービス業  | 2.3% | 転職支援・人材紹介・人材採用支援（看護師や建設関連など専門職の人材紹介・派遣が中心）。                                       | サービス業  | 14.6% |
| 8                          | ミロク情報サービス（9928）   | 情報・通信業 | 2.2% | 財務・会計システムからセキュリティまでトータルサポート。                                                      | 情報・通信業 | 7.9%  |
| 9                          | e B A S E（3835）   | 情報・通信業 | 2.2% | 商品・コンテンツの情報構築、管理、活用と企業間の商品情報交換を支援するデータベースソフトウェアの開発・販売・保守。                         | 化学     | 7.5%  |
| 10                         | 小松マテレー（3580）      | 繊維製品   | 2.0% | 高機能繊維の技術で医療資材や電子材料などに事業展開。ファナック社と開発した炭素繊維強化プラスチック製品や蒸気・余熱などを活用した省エネ技術の活用が見込まれる。   | 不動産業   | 7.2%  |
|                            |                   |        |      |                                                                                   | 電気機器   | 6.9%  |

## コメント（2019年6月の市況、運用状況、今後の運用方針）

### ■運用状況■ 方向感乏しく個別物色の展開。ファンドは、内需銘柄に加えて半導体や電子部品なども買付け

月初は、米国の早期利下げ観測や米中貿易協議進展への期待からNYダウが過去最高値に迫るなか、日本株も堅調な展開でした。ただ、中旬以降は、円高・ドル安進行に加え、月末の20カ国・地域首脳会談（G20大阪サミット）を控え、様子見ムードが強まり、方向感に乏しい動きとなりました。新興市場・中小型株市場においても売気は盛り上がり、好材料が出た銘柄などを個別に物色する展開となりました。騰落率（前月末比）は、中型株指数+2.3%、小型株指数+1.8%、東証2部指数+0.5%、日経ジャスダック平均+2.0%、東証マザーズ指数+1.1%でした。

ファンドでは、収益の鈍化が予想されるゲームやインフラ関連、株価が上昇したクラウド、教育関連など5銘柄を売却、組織改革で事業の立て直しを図る医薬品、エネルギー、情報通信、車載関連など7銘柄を買い、6月末の株式組入比率を85.2%としました（5月末79.9%）。新規買付は内需バリュー銘柄に加え、直近下げがきつかった半導体や電子部品関連銘柄などにも広げました。

### ■今後の運用方針■ 内需関連、ディフェンシブ株、生き残りをかけて経営改革に乗り出す企業にも注目

G20大阪サミットで米中通商協議の再開と追加関税発動見送りが合意され、貿易摩擦の悪化がひとまず回避されたとして、米国株式市場は史上最高値を更新、世界の株価も最高値圏に近付いています。世界景気や企業業績の減速感が出ているなかで、金融緩和を背景とする余剰資金が株式市場に流入する金融相場の様相を強めています。日本株も堅調な展開となつてはいますが、大手製造業の今期の想定為替レートとして110円が多いなかで足元の為替水準は円高（107円台）で推移していることから、輸出企業の採算悪化から上値を抑えることが考えられます。7月は4-6月期の決算発表、21日投開票の参院選、30～31日には利下げ観測のあるFOMC（連邦公開市場委員会）を控えており、動向に注意が必要。金融緩和期待が相場を下支えするものの、好転の兆しが出てくるまでは方向感のない相場展開が続くそうです。

円高で輸出関連の主力株を積極的に買いづらくなか、景気変動や外部環境の影響を受けにくい内需関連の中小型株などを個別に物色する展開を想定しています。7月の新規株式公開（IPO）は5銘柄と少なく、直近上場銘柄で値動きの軽い銘柄などが物色されそうです。

米国株式市場では、相場をけん引してきた「ハイテク株」から相対的に景気の影響を受けにくい生活必需品といった「ディフェンシブ株」に向かい始めています。金融相場は流動性の高い銘柄などが物色される傾向がありますが、世界景気の先行き不透明感が強まるなかでは、内需関連の中小型株やテーマ株などのディフェンシブ株にも物色の予兆が向かうものと考えています。また、業界再編・統合やM&Aなどの流れに着目し、生き残りをかけて経営改革に乗り出す企業などにも注目してまいります。銘柄選別に当たっては企業の割安・変化・成長の投資視点のもと、パフォーマンスに大きく貢献してくれる銘柄の発掘に努めてまいります。

当資料は当該ファンドに関する運用状況の情報提供を目的として、TORANOTEC投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は信頼できる公開情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完全性を保証するものではありません。また、当資料の運用実績・データ等は過去のものであり、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。投資信託は、株式など値動きのある証券等に投資をしますので基準価額は変動し、また元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益は全て投資家の皆様に帰属します。当ファンドのお申し込みの際には、販売会社より投資信託説明書（交付目録見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

# Monthly Report

# TORANOTECアクティブジャパン

追加型投信／国内／株式

2019年6月末

## 当ファンドにかかるリスクについて

当ファンドは、株式や公社債など値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、ファンドは、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

- ①株価変動リスク...株式市場が国内外の政治、経済、社会情勢の変化等の影響を受けたり、また株式の発行企業の業績悪化、信用状況の悪化などで、基準価額が下落する可能性があります。
- ②金利変動リスク...金利変動により債券価格が変動するリスクをいいます。一般に金利が上昇した場合には、債券価格は下落し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
- ③信用リスク...公社債および短期金融商品の発行体が財政難、経営不振、その他の理由により、利息や償還金をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなるリスク(債務不履行)をいいます。
- ④流動性リスク...有価証券等を売買しようとする場合、需要または供給がないために、有価証券等を希望する時期に、希望する価格で、希望する数量を売買することができないリスクをいいます。
- ⑤投資信託に関する一般的なリスク
- ⑥運用体制の変更ならびに運用責任者の交代に関するリスク

## お客さまにご負担いただく費用について

### 直接的に負担する費用

|         |                                                                                                          |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 購入時手数料  | 取得申込受付日の基準価額に、 <b>3.24%(税抜3.00%)</b> の率を上限として、販売会社が別に定める手数料率を乗じて得た額とします。申込手数料の詳細につきましては、販売会社にお問い合わせください。 |
| 換金時手数料  | ありません                                                                                                    |
| 信託財産留保額 | ありません                                                                                                    |

### 信託財産で間接的に負担する費用

|                  |                                                                                                                  |
|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 運用管理費用<br>(信託報酬) | ファンドを保有している期間、保有している金額に対して <b>年率0.864%(税抜0.80%)</b> 。<br>(配分(各税込):委託者0.4158%・販売会社0.4158%・受託者0.0324%)             |
| その他の費用<br>・手数料   | 信託事務の処理に要する諸費用(監査報酬、目論見書等の印刷費用等を含みます。)有価証券売買時の売買委託手数料等<br>※その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。 |

※詳しくは交付目論見書をお読みください。

＜投資信託に関する留意事項＞

投資信託は、その商品の性格から次の特徴をご理解のうえご購入くださいますようお願い申し上げます。

- ・投資信託は預金ではありません。
- ・投資信託は預金保険の対象となりません。
- ・投資信託は値動きのある有価証券等に投資するため、投資元本及び分配金が保証された商品ではありません。
- ・投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
- ・投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。



# Monthly Report

# TORANOTECアクティブジャパン

追加型投信／国内／株式

2019年6月末

## お申込みメモ

|        |                                            |
|--------|--------------------------------------------|
| 購入単位   | 販売会社が定める単位<br>※詳しくは販売会社にお問い合わせください。        |
| 購入価額   | 購入申込受付日の基準価額<br>※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。  |
| 換金単位   | 最低単位を1口単位として販売会社が定める単位                     |
| 換金価額   | 換金申込受付日の基準価額                               |
| 換金代金   | 原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。 |
| 申込締切時間 | 原則として、営業日の午後3時までに販売会社が受けたものを当日の申込分とします。    |

## 委託者、その他関係法人

|      |                                                                                                                                           |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委託者  | TORANOTEC投信投資顧問株式会社<br>金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第384号<br>商品投資顧問業(農経(2)第19号)<br>加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会<br>(投資信託設定、投資信託財産の運用指図等を行います。) |
| 受託者  | 株式会社りそな銀行(再信託:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)<br>(投資信託財産の管理業務等を行います。なお、信託事務の一部につき、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託することができます。)                                |
| 販売会社 | (受益権の募集・販売の取扱い、一部解約の実行の請求ならびに償還金および一部解約金の支払い等を行います。下記表は当ファンドの販売会社の一覧表です。)                                                                 |

### 販売会社一覧

| 販売会社名                               | 登録番号                        | 日本証券業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
|-------------------------------------|-----------------------------|---------|-----------------|-----------------|--------------------|
| <a href="#">楽天証券株式会社</a>            | 金融商品取引業者<br>関東財務局長(金商)第195号 | ○       | ○               | ○               | ○                  |
| <a href="#">株式会社SBI証券</a>           | 金融商品取引業者<br>関東財務局長(金商)第44号  | ○       |                 | ○               | ○                  |
| <a href="#">松井証券株式会社</a>            | 金融商品取引業者<br>関東財務局長(金商)第164号 | ○       |                 | ○               |                    |
| <a href="#">香川証券株式会社</a>            | 金融商品取引業者<br>四国財務局長(金商)第3号   | ○       |                 |                 |                    |
| <a href="#">TORANOTEC投信投資顧問株式会社</a> | 金融商品取引業者<br>関東財務局長(金商)第384号 |         | ○               |                 |                    |

＜ファンドに関する照会先＞

ホームページ <https://www.toranotecasset.com>

電話番号 03-6432-0782(受付時間:営業日の9時～17時)

TORANOTEC  
ASSET MANAGEMENT